2015年
入試用

学校説明会レポート

ICHISHIN
市進

都立青山高等学校

日時	2014年　6月6日（金）11時30分～12時45分
所在地	渋谷区
会場	5F 校内ホール
対象	塾
出席者数	約150名　　満席
配付資料	学校案内、学校説明会資料、過去出題の自校作成問題等、ポスター、説明会案内など

説明会の概要

学校長あいさつ　小山校長先生　11：30～11：40

●先日5月22日に、都の教育委員会から平成29年度まで進学指導重点校の再指定を受けることが決まりました。

●2014年の大学合格実績では、平成6年（1994年）より約20年ぶりの良い結果となりました。おかげさまで難関国立大・国公立医大に17名、国公立大学に95名の現役合格者を出すことができ、目標値を上回りました。

●大学合格実績の数値だけにこだわっていくのではなく、今後は質の高い学びを遂行していってほしいと、先日教職員と生徒たちに話をしました。

●学力検査では、国語・数学・英語についてはグループ作成問題を出題します。平成27年度はグループ共通問題を基本としつつも、各教科とも1題を差し替える方針です。詳細は10月以降の学校説明会で説明します。

平成26年度自校作成問題（グループ作成）の分析

＜国語＞　入江みどり先生　11：40～11：50

●大問1は漢字の読み書きです。(4)「酷吏」の読み方の正答率が35.2%で低かったです。

●大問2は、（2）（5）の正答率が低かったです。

●大問3は、（問3）の正答率が低かったです。比喩表現の問題になります。

（問４）は、選択肢の前半部分だけが合っているもの（後半部分は間違っている）を選択する生徒が見受けられました。しっかり選択肢の文章を最後まで読むことが必要です。

●大問４は、（問 3）（問５）の正答率が低かったです。（問６）は例年通り 200 字以内の記述問題です。

●大問５は融合問題です。（問２）「いなす」という意味が理解できてなかったようです。

＜数学＞　木島克彦先生　11：50～12：00

●例年どおり大問が４つでした。2014 年入試は計算量がやや多くなったかと思います。

●大問１では、（問 3）が確率の問題でした。場合の数を数えると７つになります。問題では√がついているため、困惑したようです。

●大問１全体では、男子の平均点が高いのに対し、（１）（２）の正答率に限ると女子のほうが高くなっています。

●大問３は、平面図形の問題です。

●大問４は、立体と空間図形の問題です。立体の体積を、いろんな角度から捉える知識が必要です。普段から同様の色々な問題を解いて、慣れ親しんでおいてください。

●合格者と不合格者の得点差が高かった問題は、男子では大問４の（問２）、大問１の（問４）、女子では大問３の（問１）でした。

＜英語＞　笹部　宣雅先生　12：00～12：10

●大問２は、じゃんけんに関する内容でした。（問５）の正答率が 34.8%と低かったです。（問６）も正答率が低かった問題です。（問８）は、アヤカが帰宅してから書いた日記の内容です。全体をよみとれていない生徒が多かったです。

●大問３は、説明文で 1000 語以上になる問題です。（問１）は語句の並べ替えの問題でしたが、正答率が低かったです。（問 3）は文章の流れが理解できていない。接続詞に留意して考えてほしいです。（問 4）は４つの文の並べ替えです。ウが一番前にくることはすぐにわかります。→エ→イと考えると見えてきます。（問８）作文まで手が回っていなかったようです。

＜（推薦）小論文＞　小林先生・本杉先生　12：10～12：20

●理科分野に関しては化学の溶解度曲線の問題でした。2015 年入試もデータをグラフ化する、といった傾向にあると思います。けっして自由作文ではありません。

●理科分野と社会分野で 50 分なので、時間配分に気をつけて下さい。社会では、資料や統計から読み取る問題が出題される傾向にあります。

●例年、解答用紙の書き方の注意を読んでない生徒がいます。１マス目から書き始める、改行しない、などに気をつけてください。

入学者選抜状況等

大島副校長先生　12：20～12：22

●推薦に基づく選抜における男女別倍率は男子 6.36 倍，女子 9.08 倍となりました。
●学力検査に基づく選抜の倍率は男子 1.78 倍，女子 1.74 倍でした。
●学力検査の倍率は昨年とほぼ同じでしたが、推薦の倍率は男女共に上昇しました。

進学実績

進路指導　蒲田先生　12：22～12：45

●青山高校の進路指導スケジュールの中で、３月の春季講習での第７回教職員対象進路研修会というのが、日本で一番早い入試研究会だと思います。
●2014年のセンター試験も理科で変更がありました。こういった説明も、７月５日に生徒に伝え、７月 11 日に保護者に伝えます。生徒と保護者に同じことを伝えていくことが大事だと経験上感じます。一方だけに伝えるのでは不十分です。
●合格実績に関しては、合格者数ではなく進学者数で数値を出すようにしています。2014年現役で国公立大に 30.1％が進学しました。こだわりたいのは、現役での国公立大進学者数です。生徒たちに「受験は一生に一度のことだから、第 1 志望は最後まで貫く」ことを伝えています。
●青高の大学受験は、学校行事のようなものです。みんなで取り組み、みんなでやりきっていくものです。外苑祭の途中でも、生徒は進路室にやってきます。とにかくこちら（教職員）が言わなくても、生徒から積極的に質問に来ます。

説明会の雰囲気・印象

●大学合格実績が上がったためか、先生全体の口調も滑らかで活気にあふれているという印象を受けました。参加者も熱心に聞いていました。

学校周辺の環境

●国立競技場などの公園施設があり、緑多い環境です。外苑前駅から近く通学に便利です。

最寄り駅から学校までの距離・時間

- 東京メトロ銀座線 外苑前駅から徒歩３分
- JR 中央線 千駄ヶ谷駅から徒歩 15 分